

## 2014年度受託研究概要報告

## JA共済連兵庫共済事業60周年記念ロゴの作成

## 研究メンバー

赤崎正一	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
高台泳	デザイン学部ビジュアルデザイン学科助教

## 委託者

全国共済農業協同組合連合会 兵庫県本部

## 研究概要

本研究は全国共済農業協同組合連合会兵庫県本部（以下JA共済連兵庫と表記）の60周年を記念するロゴマークを作成することである。研究は平成26年11月11日から平成27年3月31日までの期間中、ビジュアルデザイン学科の3年生4人と研究生1人の参加で行われた。研究の内容及びプロセスは次の通りである。

## (1) デザインコンセプトについて

11月上旬に開かれた打ち合わせで、デザインコンセプトの確認を行った。昭和30年の設立から今日に至るまでの60年間、JA共済連兵庫を支えてきた契約者に対する感謝の意を込めて、「ありがとう60年の絆」という文言をロゴマークに挿入すること、そしてこれからの新しい時代に向けたより良い絆の精神を表すために、明るく目立つ色調を使用することで、ロゴマークのデザインコンセプトが定まった。

## (2) 途中経過

(A案) 人と人との関係を結ぶ「赤い糸」を題材にし、多くの人の温かみを糧に、次へと繋げていくという意味を込めたデザイン案である。

(B案) 「ありがとう60年の絆」という文言をひとつひとつつなげることで絆を表現したものである。

(C案) 「絆」というワードから人との繋がり、そして人と結ばれるイメージを表現するため、リボンモチーフにしたものである。

(D案) 絆を表現するために縫ってある糸と針を媒体にし、次の絆に向けて新しい可能性を示したものである。

(E案) 6と0を結ぶことによって絆ということとずっと続いていくという無限を表現したデザインである。

(F案) これからも繁栄を祈る気持ちを込めて新芽と60

という記念すべき数字を合わせたデザインである。

以上の6点の第一次デザイン案を持って12月中旬の第一次プレゼンテーションを行った結果、A案とC案の折衷でデザインを修正し、さらに展開することとなった。そこで第二次デザイン案では、A案の文字とC案のリボンを合わせたロゴデザインを提案した。カラーについては青色一色のC案を見直し、温もりや絆、希望などを表現するために、黄色や橙色、桃色、赤色の暖色系を使用する一方、既存のJAロゴマークを連想させる緑と赤の補色を大胆に打ち出した案も含めた。形については、文字とリボンとのバランスを考慮してヨコ幅・タテ幅を調整を行った。このような第二次デザイン案を持って1月中旬に第二次プレゼンテーションを行った結果、緑のリボンに赤の文字を用いたロゴマークにすることが決まった。

そこで、最終プレゼンテーションでは、小さく印刷使用される際の可能性を考慮して、メイン文言である「ありがとう60年」を大きく配置し、結び合いとつながりを象徴する緑の「リボン」と、ビジュアルにアレンジした赤い「絆」の文字を合わせたロゴデザインを提案した。

## 研究成果

本研究を通じて制作したロゴは60周年の節目を迎えることをJAならびにJA職員に周知するとともに、組合員・利用者への感謝とさらなる広報効果をあげるためのものである。このようなJA共済の契約者の「相互扶助」の精神と、新しい時代に向けたより良い「絆」を求める心をビジュアル化するために、本研究に参加したビジュアルデザイン学科の学生たちは様々な模索を行った。クライアントが求める「相互扶助」という抽象的な言葉を具現化するために、考えたのが糸や針、リボン、60の数字、絆の漢字、葉っぱなど、色々な表現方法を検討する中で、表現の楽しさと可能性を感じることができた。また、今回の研究を通じて学生はデザインによる社会との繋がり、デザインの社会的な役割を実際に体験することができ、さらなるステップアップのきっかけを得た。

1 第一次デザイン案



2 第二次デザイン案



3-1 最終デザイン案 (カラー)



DIC P-853 (C100/M30/Y100)  
DIC P-819 (C10/M100/Y100)

3-2 最終デザイン案 (モノクロ)



K60 / K90



K20 / K0